

■私から始まるまちづくりをめざして

「誰もが住んで良かったと思えるまち」、「人との絆を大切に共生の心を育むまち」、「子どもたちが夢と希望を持ち健やかに成長できるまち」への願いは、誰の心の中にもあることではないでしょうか？

市民会議では、その思いを少しずつ共有し、これまでの公共のしくみや課題を具体的に認識し、どのように取り組んでいったらよいかアイデアを出し合い、実現に向けて必要な支援をあげ、住民自治に向けて、ゆっくりでも確実な一歩を踏み出したいと条例を積み上げてきました。

市民会議の委員は殆どが条例づくりの素人でした。行政と連携・協力することにより見本手本のない中、条例素案（中間案）の取りまとめまでこぎつけました。協働とはそういう無限の可能性を秘めているものではないでしょうか。

山口市において市民参加のプロセスが継続して市民による市民のための使える条例をめざしてたくさんの方の意見をお待ちしています。

条例施行までの予定

6月～7月

○ 最終案の検討

地域フォーラムやパブリックコメントでの意見をもとに条例素案の最終案を検討します

8月

○ 最終案パブリックコメント

市民会議で取りまとめた最終案について、再度広く市民のみなさんからの意見を求めています

9月

○ 条例素案の提言書の検討

パブリックコメントの意見を基に条例素案の提言書を検討します

○ 市民会議から市長に条例素案の提言書提出

12月

○ 市長が議会に条例案を上程

10月～3月

○ 協働推進プランづくり

3月

○ シンポジウム(予定)

4月

○ まちづくり基本条例施行(予定)

○ 協働推進プラン施行(予定)

中間案

W O 市

まちづくり基本条例素案

地域フォーラム

5/24
土

徳地山村開発センター

6/1
日

湯田公民館

6/7
土

名田島公民館

14:00～16:00

市民会議と地域との出会い

☆本日のプログラム☆

14:00 あいさつ

14:10 委員紹介、プログラム説明、
中間案の説明

14:50 休憩

15:00 意見交換

○中間案に対する意見や質問

15:40 今後の予定
アンケート



※会議の進行状況を見て、プログラムを変更することがあります。

(仮称)山口市まちづくり基本条例中間素案ができるまで

2007
7/19
スタート



委員 24 名 中公募委員 20 名
男性 9 名 女性 15 名
平均年齢 49 歳 (19~75 歳)
山口地域 18 名 小郡・阿知須
各 2 名 秋穂・徳地各 1 名

市民会議では、最初にまちづくりについての様々な課題を抽出し、まちづくりを進める上でのポイントを整理しました。このポイントを基本におきながら、条例を検討していきました。

はじめに、市長から山口市を取り巻く環境や地域の課題、協働のまちづくりの必要性、市民会議への期待等についての講話を受けました。8 月にはまちづくり基本条例に関する研修を市職員と一緒に受け、9 月には、行政のしくみや課題など、みっちり二日間自主勉強会を行いました。

緊急度の高い課題は・・・
○市民の意識醸成
○市民参加のしくみ
○協働のしくみ、体制づくり
○地域活動・市民活動の活性化
○人材発掘・育成
○情報共有のあり方
○財政健全化、行政運営のあり方



まちづくりを進める上でのポイント

- 文化・歴史・自然との調和
- 人権の尊重
- 市民の主体性の醸成
- 子供の健全育成
- 地域コミュニティの活性
- 5 地域の一体感
- 人材発掘・育成
- わかりやすい情報発信

まちづくりを進めるポイントを基に、各自目的や理念、柱立てを考えて持ち寄り、グループごとに分かれ、少しずつ積み上げていきました。13 回の全体会議のほか自主的な会議も重ねてきました。



柱立てごとにグループに分かれて、各自が考えた条文を持ち寄り、組み立てや条文を検討していきました。

検討にあたっては、事務局が他自治体の条例をデータベースにして提供してくれたり、グループワークでの意見を全てデータにしてくれたりしました。協働に向けて心強い支援者だと実感しました。



ある程度、条文が出来上がってきたところで、まちづくりの各主体の役割の確認し、条文の関係性、構成を検討しました。あらかじめ中間案が出来たところで、定義や条文をさらに検討しました

条例作りに対しては、殆どの委員が初めてのことで、本当にできるのか不安でした。「大切なのは、作るプロセスから市民と行政が協働していくこと」をよりどころに委員も事務局も取り組んできました。この条例をもっとたくさんの人と見守り、育てていけることを願っています。

